

授業科目		単位数	学年	期間	実務経験		担当氏名
					職種		
成人看護学実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ (急性期・回復期・慢性期・終末期)		6	2・3	2年後期 ～ 3年後期	看護師		専任教員
実務経験のある教員等による授業科目(いずれかに○印)					授業形態(全授業時間に対する割合)		
該当する ・ 該当しない					講義形式()% ・ 実習など講義形式以外(100)%		
評価方法	看護実践・実習に対する意欲・態度・実習記録・カンファレンスへの参加・課題レポート・出席日数を総合的に評価				教科書・参考資料	臨地実習要綱 成人分野関連教科書他	
概要	健康状態の急激な変化に伴う生命の危機にある人の変化を予測し、生命を維持し、侵襲から回復できるよう状況に応じて援助できる。既習の成人看護に関する諸理論をふまえ、家庭内での役割・社会的役割が重大であるという成人各期の特性、生活習慣病が多く見られる健康特性、さらにあらゆる健康レベルへの対応を理解した看護が実践できる。人間としての尊厳を保ちつつ、その人にとって生と死が有意義なものとなるように援助ができる。						
目標	1. 各ライフサイクルで疾患を抱える対象(成人期)を理解する 2. その対象に対する看護実践の方法を習得する 3. 健康のレベル(急性期・回復期・慢性期・終末期)・治療に応じた看護実践の方法を習得する 4. 専門職業人としての態度を養う						
回数	授業内容・計画						
	成人看護学実習Ⅰ(急性期の看護) 津山中央病院手術室 津山中央病院救命救急センター 1. 部署の見学、機能の理解 2. 看護師の役割を学ぶ 3. 受け持ち患者への看護実践 成人看護学実習Ⅱ(回復期の看護) 成人看護学実習Ⅲ(慢性期・終末期の看護) 津山中央病院 該当病棟及び該当部署 1. 受け持ち患者に対する看護過程の展開 2. 部署の見学、機能の理解						
留意事項							